
親愛なる人へ贈る

なめちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

親愛なる人へ贈る

【NZマーク】

N9362P

【作者名】

なめちゃん

【あらすじ】

あなたがいつか、これを読んでくれることを願っています。

(前書き)

文学初心者のぐだらない落書きですが、よつやくの方々の目に留まるといいです（笑）

あなたに出会えてよかったです。

あなたは誇りしげに言った、

「これは、世界で一番？人間らしい？スポーツなんだよ」

「」の言葉をもらつて、私は失いかけていた誇りを取り戻した。

空に近い場所で、あなたは言った、

「速いね。がんばれば、きっと強くなる」

「」の言葉に導かれて、私は初めて夢を見つけた。

またある日、あなたはすがすがしい顔で言った、

「どんなに軽いギアでも、回し続ければいつかはゴールに着くから」

「この言葉のおかげで、私は走り続ける理由に気づいた。

.....

「ああ、さよならに行くのかな」

私は工具を置くと、ひとつ伸びをして、それから自転車にまたがる。

腕時計の針をちらりと見て、私はペダルの回転を上げる。

あなたと……そして、大好きなみんなと走れる時間は、あと少し。

その限られた時間の中での、この列車はどこまで走れるのだらう？

カレンダーをちらりと見て、私は願う。

あなたに勝ちたい

熱く焼けたアスファルトの上で、汗と涎を垂れ流しながら、
ヨダレ

『世界で一番？人間らしい？スポーツ』で、あなたよりも速く、ゴー
ルしたい。

私の誇りをかけて、夢を田端して、どうじょひもない理由に衝き
動かされて、

あなたよりも速く、

誰よりも速く、

私は、この道の彼方に走っていく

.....

あなたに会えてよかったです。

私が生まれて初めて「勝ちたい」と思ったのは、あなたに会えた
おかげだから。

あなたに会えてよかったです。

こいつが訪れるさよならの時、きっと私は言葉にできないだろうか

ら、

IJの言葉を今IJIで、いつかあなたに伝わることを祈つて、

「ありがとう」

大好きです。

いつかまた、この道のどこかで……

(後書き)

これが、あなたに読まれることを祈っています。

……まあ、恥ずかしいので読んでも黙つてくださいね、先輩。

これからもよろしくお願ひします^_^(ーー)^_

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9362p/>

親愛なる人へ贈る

2011年1月8日21時43分発行